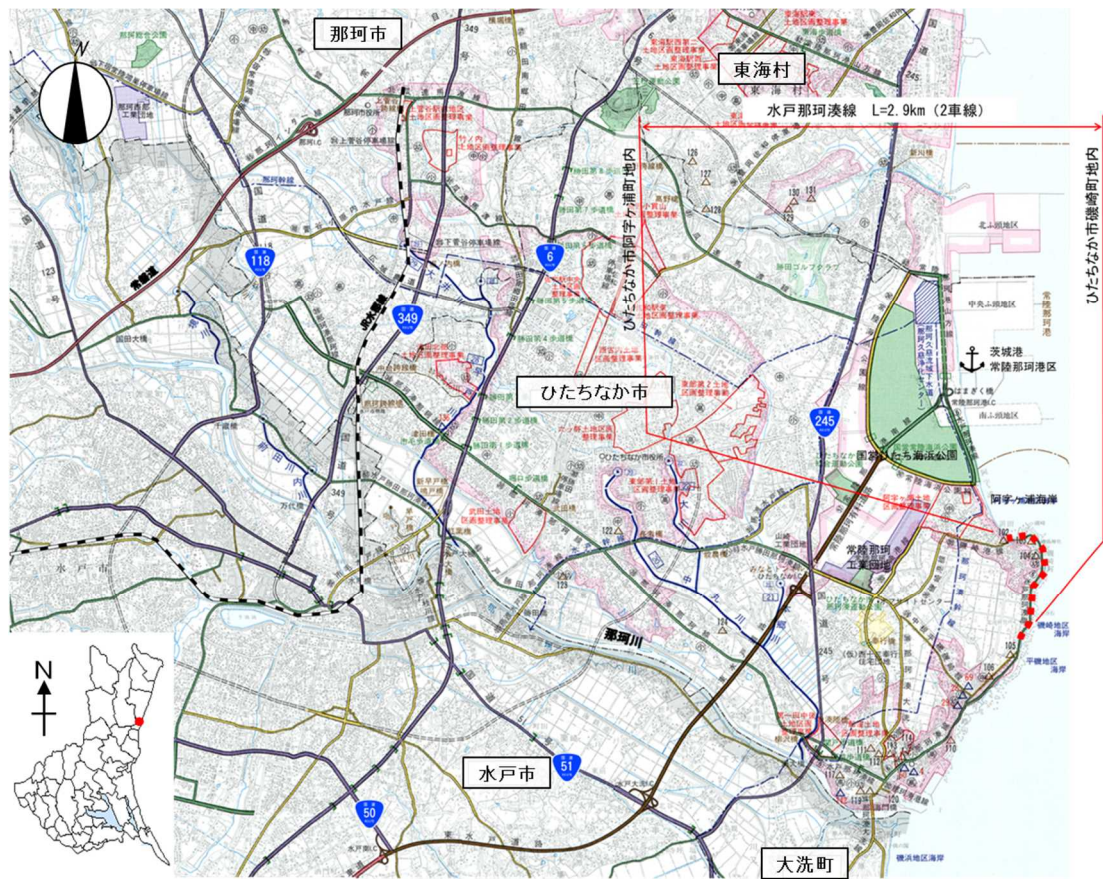


再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：荒瀬 美和

事業名	空港・港湾等アクセス 主要地方道 水戸那珂湊線	事業区分	地方道	事業主体	茨城県
起終点	自：茨城県ひたちなか市磯崎町 至：茨城県ひたちなか市阿字ヶ浦町	延長	2.9 km		
事業概要					
当路線は、ひたちなか市の国道245号と茨城港常陸那珂港区を結ぶ幹線道路であり、沿線には国営ひたち海浜公園や阿字ヶ浦海岸などもあることから、地域の振興を図る上で重要な役割を担っており、混雑緩和や安全で円滑な交通を確保することで地域連携・観光振興・産業競争力の強化を図ることができる。					
H29年度事業化		都市計画決定なし		H29年度用地着手	
H30年度工事着手					
全体事業費	約30億円	事業進捗率	約26%	供用済延長	— km
計画交通量	4,300台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 1.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 18/26億円 事業費：17/24億円 維持管理費：1.7/1.7億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 33/33億円 走行時間短縮便益：28/28億円 走行経費減少便益：4.9/4.9億円 交通事故減少便益：0.56/0.56億円	基準年	令和3年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.5 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.6~2.2 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.2~1.3 (事業費±10%) 事業費：B/C=1.6~2.0 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.2~1.4 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.7~1.9 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・ひたちなか地区の混雑緩和や安全で円滑な交通の確保を図る。 ・地域間の連携を強化し、沿線の観光資源を活かした観光振興や交流人口の確保を図る。 ・市街地や那珂湊港から茨城港常陸那珂港区へのアクセス性を向上し、産業競争力の強化を図る。 					
関係する地方公共団体等の意見					
沿線自治会や観光協会等で構成される「水戸那珂湊線整備促進協議会」等から、観光拠点へのアクセス向上や防災力強化の観点で本事業が期待されており、早期完成の要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地進捗率約47%、事業進捗率約26%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
近隣工事の建設発生土の有効活用によりコスト削減を図る					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。